

さぬき

115周年記念号

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL.(087)847-5171 FAX.(087)847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

[題字] 真言宗善通寺派管長 櫻原禪澄 大僧正猊下



讃岐学園は各種補助事業を受け運営されています。



「讃岐保育会孤児院」と改称(明34年1月)

理念

濟世利人

世の中を救い、
人々に利益を施すこと、
これが弘法大師の願いであり
活動です

基本方針

平和な日々を、
子どもと家族が、
幸せに暮らせるために



- 子どもの権利を守ります
- 安全で安心な生活を保障します
- 職員は子どもとともに育ちあいます
- 職員は専門的な知識と力をつけます
- 家族とともに子育てします
- 地域の一員としてともに歩みます

『讃岐学園』創立115周年に寄せて

社会福祉法人 弘善会

理事長 菅 智潤



社会福祉法人弘善会児童養護施設讃岐学園は、平成二十六年に開設百十五周年を迎えました。

これまで長期に渡り、当学園をご支援いただいた方々に御礼申し上げます。また善通寺派所属寺院・教会ご住職各位には、毎年、貴重な浄財をご寄進いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。今後とも相変わらずご支援賜りますようお願い申し上げます。

さらに、今日まで入園の子どもたちの面倒を見て、ご指導いただいた職員の方々、法人の理事、評議員各位にも衷心より御礼申し上げます。

理想は、こう云った施設がなくならない社会を実現出来れば一番良い事でありませぬ。

しかし、現実には、核家族化と地域社会の連帯意識、「いのち」の尊さの希薄化、インターネット、メール、SNS

の多用化等々に依り、育児放棄、児童虐待、いじめ、自殺、殺人が年々増加して来ております。特に児童虐待は、若年夫婦の子どもたち、両親が望まないのに生まれた子どもたち、連れ子の子供たち、片親の子供たちに多いと云われております。

例えば、親の自覚がない両親が子育てをして、又、その子供が子育てをして行くと云った、負の連鎖が影響しているのではないのでしょうか。家庭教育の大切さを再認識する必要があります。

子供を望んでおられるのに授けられない両親はたくさんおられます。命を授けると云う事は大変な事でありませぬ。子供たちは日本の未来を託す貴重な存在です。日本全体で、子供たちが健やかに育つ環境作りを推進するのが、官民に課せられた重要課題ではないでしょうか。

また、現在の日本では、基本的に身体を使わない人々が多数を占めております。一方、頭は人の目を気にしながら、常に働いて疲れ切っています。子供たちも身体を動かさないまま心だけがイライラを募らせています。心がすごく弱くなっております。

本年は、弘法大師さまが、四国八十八ヶ所霊場を開かれて千二百年の記念の年でありませぬ。お遍路は歩くのが基本のお詣り作法です。讃岐学園の子供たちも四国八十八ヶ所霊場をお詣りして、大変良い体験を積んでいます。日本全国の若いご夫婦が、子供たちを連れて、時折、歩き遍路をお詣りすれば、家庭の状況もかなり変化し、良い家庭に改善されるはずであります。全国には写し霊場がたくさんございませぬ。四国八十八ヶ所霊場に限らず、近くの霊場をお詣りしていただくよう関係者の方々がお勧めいただければと考えております。

なっております。

なお、人任せでは世の中は改善できません。まず、一人からでも出来る事を始め、そして、一人二人とその輪を拡げて行くにはありませぬか。

讃岐学園が理念に掲げている、他人を助け、人を思いやる心「済世利人」の精神を多くの方々に実践していただいで、さらに、地球環境の保全と日本の子供たちの未来が、明るい希望の持てる社会の実現にご尽力いただければと思っております。

香川県連合自治会
高松市コミュニティ協議会連合会
高松市連合自治会連絡協議会
会長 滝川 三郎

「社会福祉法人弘善会讃岐学園開設百十五周年を祝して」
明治三十二年讃岐学園が本県唯一の孤児のための民間施設からはじまり、開設百十五周年の記念すべき節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

児童福祉法にもとづいて、家庭環境にめぐまれない児童の養育を目的とする養護施設で高松市はもとより地域のリーダーとして地域社会との交流促進、児童の健全育成はもとより住民福祉の向上地域の青年健全育成に格別なるご理解とご尽力を賜りました歴代園長先生はじめ職員の方々多くの関係皆様方に深く敬意を表します。

土釜園長先生が進められております社会的養護の課題と将来像での位置づけとして、施設は社会的養護の地域の拠点として施設から家庭に戻った子どもへの継続的なフォロー、里親支援、自立支援やアフターケア、地域の子育て家庭への

支援など、専門的な地域支援の組織を強化しソーシャルワークと、ケアワークを適切に組み合わせ、家庭を総合的に支援していくと、お話しされました。（社会的養護の課題と将来像）より抜粋

地域の人々が互いに支えあい、安全で安心な住みよいまちづくりを常に心に留め、前田地区の発展の為に地域住民のふれあいと絆、顔の見える関係作りは今後もよろしくご指導お願い申し上げます。

讃岐学園のご発展と、土釜園長先生はじめ職員の皆様方の、ご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



みんな大ハッスル 前田地区民大運動会



前田地区民生委員児童協議会

会長 岡崎 吉隆

「讃岐学園とのかかわり」

昭和五十八年春、子供会育成会とのかかわりが始まった。何もわからない私に育成会のイロハを教えてくれたのが、讃岐学園の桑島氏であつた。彼は育成会との



かかわりも長く、温厚な人柄で、当然ではあるが子供への接し方も慣れており、育成会の運営には欠かせない人であつた。お蔭で、自転車審査会・宿泊学習・もちつき大会等々スムーズに行へた。

その行事の折々に、桑島氏から学園のことも聞き、胸が痛んだ。

今、民生委員児童委員として、讃岐学園とのかかわりを持つこととなったが、学園の児童等に対する相談指導体制は充実しており、専任の児童委員も相談にあずかることはないようである。誠に結構なことである。今後とも、学園行事や小学校行事を通じて学園児童に接し、成長を見守っていきたい。



木村医院(讃岐学園嘱託医)

木村 正司

「私と学園との関わり」

私と学園との関わりというと、職員の方や子ども達の健診、予防注射や風邪や嘔吐下痢等の病気の診察がメインです。学園内での健診の時



は、子ども達は静かに順番に入室し、先生方の躰が行き届いているのでしょうか。幼児の中には私の脚にもたれてくる子が居たり、無邪気にニッコリ笑ってくれる子もいて楽しいものです。

又、予防注射は団体で来ることが多い、この時ばかりは静かな待合室が少しザワつきです。小さな子達は注射は怖いだらうと思うのですが、不思議に泣く子は殆んどいません。私のテクニクのせいかな(？)、皆が我慢強いのか。きつと、後者なのでしょう。

今後とも学園の子ども達が、若竹のように真直ぐに育って欲しいと願っています。



香川県子ども女性相談センター

所長 岡 悦子

開設百十五周年を迎えられ心からお慶び申し上げます。

昭和五十六年春、児童相談所に就職して以来今日まで、讃岐学園には大変お世話になっており、忘れられないエピソードがいくつかあります。

初めての心理職員配置後の準備、参加型職員研修「オレンジミーティング」での先生方の熱心な眼差し、ロールプレイでの気づき、平成二十六年二月、土釜園長はじめ先生方や子どもたちと一緒に走つた「丸亀国際ハーフマラソン(3kmでしたが)・・・」とにかく先生方のチームワークは素晴らしい。

どんな大変な状況でも「笑い」を絶やさず、「型にはまらない柔軟さ」でピンチをチャンスに変えていく、子どもたちのためなら、汗と涙を厭わない姿には常々感服しています。

卒園式で「讃岐学園に来て本当によかった」と涙する退園生からにじみ出た、感謝の言葉が、ともに泣き笑いました先生方との日々の積み重ねの



賜物だと胸打たれました。

学園の先生方とは、立場と役割は違いますが、「子どもたちの最善の利益」を求めて一緒に仕事をさせていただけ

ることをとても光栄に思っております。

今後とも、どうぞ引き続きお力添えを承りますとともに、学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



香川丸亀国際ハーフマラソン大会

ランナー・応援、参加の仕方はいろいろ。職員・子どもが、オレンジリボンチームで参加。



香川県西部子ども相談センター

所長 合田 真知子

まっすぐな坂道を右に入る と讃岐学園に到着。それぞれの事情があり親から離れる子ども達を学園にお願いする時、その子どもからのからの人生を託すような気持ちになりま す。学園での生活が短くとも、長くなるうとも、ここでの出会いや日々の生活がその子の人生の貴重な体験の積み重ね になってほしいという願いか ら。そして、不安げな様子の 子どもを前に、いつも学園の 先生方は笑顔で前を向いて、 しっかりと引き受けてく ださい。

先週、学園から分厚い一冊、「平成二十五年度讃岐学園研修報告書」が届きました。「ともに育つために」という副題と共に、『「職員集団のチーム力」の証明」という記述に、学園の職員の方々の気概と自負を強く感じます。日々子どもを温かく包み、時にぶつかりながら、育ちを支えてくださっている先生方に感謝し、これからも続く讃岐学園の歩みを応援していきたいと思っております。



高松市立協和中学校

校長 田窪 克久

「手を携えて」

本校には、毎年
讃岐学園から数名の



生徒が入学してきます。どの生徒も家庭に恵まれない生徒たちですが、そんな素振りには全く見せません。自分の境遇を自分なりに理解し、職員の皆様の温かい配慮を受けているからだと思えます。中学校も精一杯教育をしますが、学校でできることは限られています。讃岐学園と中学校が、生徒にとって本当に大切なことは何かを考えて、指導や支援をしていくことが生徒の成長に欠かせません。それぞれの立場で、それぞれの役割を担っていくことが生徒の未来を明るいものにすると思えます。

讃岐学園と手を携え、細かな部分と思われるところにまで思いを至らし、地道に役割を果たし続けていきたいと思えます。

讃岐学園開設百十五周年
おめでとございます



高松市立前田小学校

校長 井上 和枝

「一生懸命」

みんな一生懸命生きている。

これでいいのか、本当にこれいいのかと自分とたたかいながら。悩むたびに、そのたびに、あなたは、少しずつ大きく強くなっている。今だよ。今、あなたは、大きく強くなっている。」

「自分に真剣に向き合っている人は、自分を磨いている人。そんなあなただから、人に支えられていることに気付いて、人に感謝することができ。感謝すると、もっ」と人と深くつながっている。」



「自分の弱さは、かくさなくていいよ。強いところも弱いところも全て合わせて、あなた自身つらい時、悔しい時、涙がこぼれる時、それは、あなたが一生懸命生きている証拠。あなたが素直である証拠。だから、一生懸命がんばるあなたは、かっこいい。」

開設百十五周年

おめでとございます

高松市立前田幼稚園

園長 濱崎 早由利

朝、幼稚園の門の前で停まった讃岐学園のハイエースのドアが勢よく開くと、そこから子どもたちが元気に飛びだしてきます。にぎやかな幼稚園の一日が始まります。言葉にならない思いや気持ちを幼い心に抱き、時にそれを表

出しながら全力で生きていく子どもたちの姿から、私たち教員が学び気づかされることのなんと多いことでしょうか。



生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の教育の果たすべき役割の重要性と深みを確認する毎日です。

讃岐学園におかれましては百十五周年の長きにわたり、子どもたちを慈しみそだててこられた歴史と営みに尊敬の念を感じます。

そして、地域の幼稚園として前田幼稚園が讃岐学園とともに子どもたちの笑顔と成長・発達を願っている仲間として、今後も子どもたちを支える力になりたいと強く思います。

社会福祉法人 弘善会

常務理事 鎌田 真雄

このたび、讃岐学園が開設

以来、無事に百十五年周年を迎えることができましたことは、多くの皆様のご支援、ご協力によるものと、厚く御礼申し上げます。

私は、この法人に就職して三十年余りになります。当時は、百二十名を超える児童が在籍しておりました。在職中に特に印象に残っているのは、昭和六十二年の十九号台風による大水害であります。施設内で一メートル二十センチ、屋外においては、一メートル八十センチにまで浸水いたしました。当時、施設復旧のため地域の方々には、本当にお世話になりました。

その後、施設は現在の地に新築移転いたしました。その経緯は、簡単なものではありませんでした。移転計画から施設完成まで、事業に事務職員として携わることができたことは、本当に良い経験となりました。

現在は、少子化により児童数は減少しておりますが、より家庭的な養護を



指して職員一同取り組んでおります。先人たちの意思を受け継ぎ、これからも真面目に施設運営に取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

わーい
あたらしい
遊具だ!!



阿部龍汪前園長が、今年四月十二日にご逝去されました。阿部前園長は、昭和二十八年から讃岐学園の園長を務め、平成十八年退任まで五十数年に渡り、児童養護に貢献されたその功労により、従六位に叙せられました。

この紙面をお借りし、ご報告致しますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。ご遺族より「子ども達の為に」と寄付金を頂き、子ども達の希望でグラウンドに遊具を設置致しました。



児童養護施設「讃岐学園」115年の歩み

- 明治32年8月 高木光久氏が高松市築地町の深妙寺に 保育場を創設
 - 34年1月 真言宗僧侶有志が「讃岐保育会孤児院」として事業継承
 - 40年8月 財団法人化
 - 43年6月 「讃岐学園」と改称
- 昭和 7年2月 高松市西浜新町(現在の西宝町2丁目11-6)に園舎移転
 - 23年4月 児童福祉法の施行により、養護施設の認可
 - 27年5月 社会福祉事業法の施行により社会福祉法人化
 - 28年4月 讃岐学園後援会発足
 - 45年8月 高松市前田西町956番地に新築移転
 - 54年9月 創立80周年記念事業として「愛の時計台」建立
 - 60年3月 特別養護老人ホーム「弘恩苑」(高松市前田西町683-7)開設
 - 62年10月17日 台風19号により床上浸水
 - 12月 水害復旧工事の完成
- 平成 2年4月 高松市前田東町569番地2(現在地)に新築移転
 - 7年6月 地域交流事業の一環として、温泉を掘削
 - 9年 ケアハウス「弘恩」(高松市前田西町683-4)開設
 - 10年3月 敷地内に、自立支援施設「グリーンホーム」が寄贈される
 - 11年4月 特別養護老人ホーム「香色苑」(高松市高松町1350-22)開設
 - 6月 讃岐学園裏庭に、温泉水を利用して足浴場が寄贈される
 - 12年5月 創立100周年記念として、卒園生有志により「感謝の碑」建立
 - 17年4月 特別養護老人ホーム「法寿苑」(高松市木太町3308)開設
 - 19年8月 小規模グループケア施設を開設
 - 9月 法人名称を社会福祉法人「弘善会」と改称

法人内の子どもとお年寄りの交流も行っています



法寿苑と中高生
行事のお手伝い



弘恩苑と小学生
月1回・清掃ボランティア

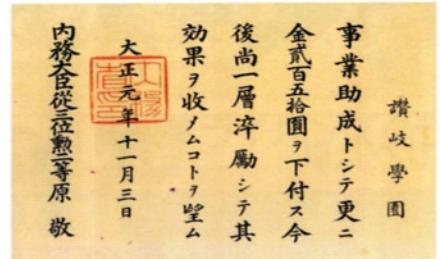


香色苑と幼児
月1回・交流慰問

●これからの「讃岐学園」

国の施策として今から15年後をめどに、施設の小規模化と施設機能を地域に分散化する「家庭的養護の推進計画」が進められています。

讃岐学園は、本体施設内の生活単位を小規模化(子ども6~8人単位で生活するスペースにする)、地域に小規模施設を建設するとともに、115年にわたる子育てのノウハウを生かし、子育て支援拠点として地域に還元出来る施設になりたいと考えています。



愛の時計台

現在地移転時に移しました。今尚時を刻み、私たちの生活を見守っています。



自立支援施設

高松グリーンロータリークラブ寄贈 通称「グリーンホーム」退園前の子どもの自立体験はもちろんのこと、お誕生会や少人数でのお泊り会等で大活躍の施設です。



感謝の碑



足浴場(グリーンロータリークラブ寄贈)夏休みには、地域の子もたちにも開放し一緒に楽しみます。






小規模グループケア施設

(公財)JKA補助事業 家庭的な雰囲気の中、個別の関係を重視したきめ細やかなケアを行います。6名の子どもが生活しています。



今と昔、わたしたちの生活はどう変わったの？



比べた事	む か し	い ま
入所児童数	100名前後 最大122名(昭和58年)	55名 (定員65名)
職員数	職員数 41名 (昭和54年) 園長・書記・嘱託医 栄養士・調理員6名 直接処遇職員(パートも含む)30名 職業指導員  ※児童福祉法で、子どもの人数に対する職員数の配置基準が決められています。3歳未満児2名:職員1名、幼児4名:職員1名、学齢児6名:職員1名	職員数 41名 園長・事務長・経理・事務員・嘱託医 栄養士・調理員4名 生活担当職員(パートも含む)26名 サポート職員(心理担当・個別対応・家庭支援員・里親支援員・看護師・基幹的職員・特別指導員など一部生活担当と兼務) ※子どもの人数は半減していますが、職員数は増えています。平成12年以降、生活担当以外に、専門的役割を持つサポート職員が増員されるようになりました。 ※配置基準の見直し・学齢児5.5人:職員1名
部屋の広さ	6畳の洋室(2段ベッド×2)と和室 小学生 4人部屋 中学生 2~4人部屋 高校生 1~2人部屋 幼児 20人以上収容の大広間 	6畳の洋室と和室 小学生低学年 2~3人部屋 小学生高学年 1~2人部屋 中学生・高校生 1人部屋 幼児 年齢に応じて3人~数人の部屋もあります 少人数で、ゆったりとした生活スペースの確保に努めています。
一日の生活	5:30 週番起床し、みんなを起こす 炊事当番 配膳準備 6:00 起床・点呼・礼拝 ラジオ体操・乾布摩擦 6:30 食事 炊事当番 食器洗い・食堂掃除 7:30 集団登校・整列出発 ~ 学校 ~ 帰園 宿題 週番活動・炊事当番 掃除・3分間作業 17:30 夕食・炊事当番 食器洗い・食堂掃除 縄跳び(冬はマラソン)・タペの礼拝 入浴(入浴日とシャワーの日が交互) 自由時間 20:30 小学生集合・点呼・腹部摩擦 21:00 中高生集合・点呼・腹部摩擦 21:30 消灯 当時、幼児でも一般心経をすらすら唱えていました 健康な体作りに力を入れていたんだね 	6:00ごろから自主起床 起きない子は、職員が声掛けします ← 礼拝は廃止 6:30 朝食 それまでに起きよう 食べられる量を自分で用意します 7:20 準備が出来た子から、学校に出発 ~ 学校 ~ 帰園 宿題 学習ボランティアの人が来て、勉強を見てくれる日もあります。 18:00 夕食 当番はなく、各々が職員と一緒に盛り付け準備や片付けをします。 お風呂は毎日 週2回、フロア毎にFE会(児童自治会)を行い職員と子どもの意見交換の場としています。 21:00 自室 小学生消灯 22:00 中高生消灯
休日・余暇	・土曜午後(午前は学校)と日曜午前は、学習・作業(園内整備・除草・農作業など) ・日曜午後は スポーツ(男子は野球・女子はバレー) 職員の熱心な指導の下、県下施設対抗大会では常勝。四国大会でも活躍していました。 小学生は演劇部やプラスバンド部が、施設内外で披露する機会に備え、練習を重ねていました。	・個々の希望に添って、サッカー・バドミントン・相撲・マラソンなど、施設外のスポーツ教室や集まりに参加している子も多くいます。 ・担当職員と一緒に個別外出など、小単位の外出 ・老人ホームとの交流や園外奉仕活動の実施 ・「遊ぼうデー」職員と子どもが遊びを企画 ・お友達と約束して遊びに行ったり、来てもらったり…家庭と同じような休日を過ごしています



私たちの夢 ぼくらの将来



おまかせな
たら
ほいほい
のりだ
で
あ
6さい

バスの
うめんし
かつや

歯を作る人
になりたい。
AIKI



小1 女子
ふくやさんに
になりたい

おみせの
ていんさんに
になりたいな★
小1女子

小5 愛生
私は大人にはなりたい
人で 保育士の先生に
なりたいです。

ピアノの先生に
なりたいです
けいこ



ドーナツ
屋さん
けいこ



作家になる
中厚 12才

ほいほいになりたい
鳴生 小2

サッカー選手!
翔磨・小6



ペットショップ
のトリマーに
なりたいです。
小5りえ



アイス屋さん
になりたい
(小1女子)

けいさ
かん
ゆうま



学校の先生
双葉・10才



看護師さん
になりたい
(小4女子)



白バイ
にのりた
い!
(小1)



野球選手に
なりたいです。
YosiYa

おいし
ゃさん
(6さい)



小4 弥生
花屋さん
に



曲作りをしたい♪
小3女子



調理師!
高橋
15才

ケーキ
屋さん
に
な
り
た
い。
小4 Y.S

美容師
に
な
る!!
小5女子



ケーキ
屋さん
と
お花
屋さん
(小4女子)



おす
もう
さん
に
な
り
た
い。
しんご



ようち
えん
の
先
生
に
な
り
た
い。
小3 みく

好きな
歌を
みんな
の前
で
歌
いた
い♪
みやび



いつもお世話になっている方々を紹介します

香川県露店商業組合



毎年どんなお店が来てくれるのか 楽しみ〜(^^)

香川県理容生活衛生同業組合高松支部



「おっちゃん。男前にしてな。」
「おお、任しとけ!!」掛け合いも楽しい時間。

高松市日赤奉仕団・一日里子



平成22年 レオマワールド



昭和50年頃、
商店街で買い物

感謝

露店商・散髪・一日里子などの行事を通して、50年以上に渡り、変わらぬご厚誼を頂いている団体もあります。

幼児との交流会を開催しています



一緒に遊んで、こま回しやお手玉が上手になりました。

前田地区老人会「ときわ会」

仲南愛の会

夏の恒例行事
キャンプ招待

バーベキュー、
花火、うどん作り
盛りだくさん!!



他にも、多くの方からご寄附・招待・慰問・ボランティア等ご厚志をいただいています。

アイオイニッセイ同和損害保険(株)MS&ADユニソンスマイルクラブ、愛染興業(株)片原町店、青木淑郎、秋山有希子、浅野八王子八幡神社、旭商工(株)、朝日平成園、池内保、石川ツヤ子、石原憲一、稲垣晴夫、インテリアフルハウス(有)、(株)ウエイ企画、漆原社会福祉士事務所、漆原都子、清滝山栄光寺、江島繁夫税理士事務所、(株)エールみらい、大嶋裕一、岡田晃、岡田芳幸、岡野朱里子、小川あつ、尾須香留、海部医院、神楽サロン、かぐや姫プレイパーク、亀山学園、加藤秀義、鎌田忍、仮面ライダーウィザード、川井郁子、川島福美、河村ゆうこ、カワソエ衣料センター、川田浩、川西斉、神原博、北原貞夫、医療法人財団博仁会キナシ大林病院、木村医院、木村華子、木村万里子、(株)久米加、グループホーム実の里、黒川商店、黒田実、クルマのハヤシ、恵愛学園、県警音楽隊、弘恩苑、香色苑、坂本聰進、佐々木一子、(株)サニクリーン四国高松支店、さらスポーツクラブ、(株)サンフローラ、自衛隊定期演奏会、四国キヨスク(株)、四国新聞社広告局企画開発部、四国電力労働組合、四国遊技機商業協同組合、完土剛、小豆更生保護女性会、全国シャンメリー協同組合、(株)ステラ、(株)創成社、総本山善通寺、専光寺、十河パイレーツ、高橋國光、高橋石油(株)、高松キワニスクラブ、(株)高松産業廃棄物センター、高松守成クラブ、高松信用金庫元山支店(敬称略・次頁につづく)



高松グリーンロータリークラブ



子ども達もお手伝いをして一緒に作った「みどりの砦」は、みんな大好き。足浴場や、グリーンホームの建設もしていただきました

高松中央ライオンズクラブ



高松東ライオンズクラブ



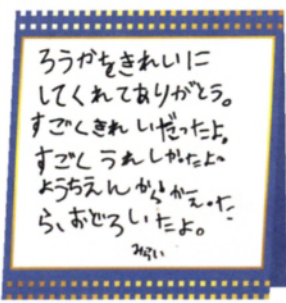
学園まつりのお手伝いや、行事への参加を通して、子ども達と交流があります

高松空港ライオンズクラブ



記念行事に招待いただき、楽器演奏や歌を披露しました。ご褒美のごちそうに、大喜び!!

ビルメンテナンス協会



いつも楽しいもちつき



小さな親切運動香川県本部

学習ボランティアの皆さま



。。。おかげさまで。。。
大学進学を果たせた子もいます。

ボランティア募集

- 幼児さんの保育
 - 宿題指導
 - 園内清掃
 - 裁縫
 - スポーツ
- その他、特技を生かして子どもと関わる
こと何でも! 興味のある方、連絡下さい。
- ☎ 087-847-5171(事務長・間島)

ランドセルを
ありがとう



高松東ロータリークラブ



(前頁からつづく) 公益社団法人高松シルバー人材センター、社団法人高松青年会議所、高松市赤十字奉仕団川添分団、高畑妙江、田村勉・圭子、竹下和弘、谷本将勝、(株)たまや、タリーズコーヒージャパン(株)マーケティング部、第一三共(株)四国支店、伊達直吾、伊達直子、地球ECO運動市民の会、地方紙正月連合企画、中国アイスクリーム協会、仲南町日赤奉仕団、(有)辻造船鉄工所、寺岡すすえ、東照寺、トレジャーワンエフ(株)、日本鏡餅組合、日本スポーツ用品協同組合連合会、(株)日光商事、馬場満、東原商店、東町本若、日高良和、平井一也、平井敏子、広瀬石油、(有)ピンゴ、藤澤吉久、フジユニオン、古川博司、フードセンター小西、法寿苑、本藤貴則、前田地区民生委員児童委員協議会、前田地区婦人会、(株)マキタ、マスウド・ソバハニ、松成一市、松本昌郎、(株)松本光春商店、(株)マニアック、(株)丸昌、(株)マルハン高松、三井物産(株)四国支店、三越伊勢丹グループ労働組合、(株)三菱東京UFJ銀行CSR推進部、宮宇地すみ子、宮脇勉、六車健、森一真、森澤義夫、(有)山地青果、吉田孝平、カラオケ喫茶りんどう友の会一同、渡辺久子、ワールドメイト、他学生等個人の方々、匿名のみなさま (敬称略)

いつもお心遣いありがとうございます。(平成25年度分)



事務長が交代しました

前事務長 藤田 伸一



事務長 間島 康善

つい先日、学園の子ども達と食事をする機会がありました。久しぶりででしたがみんな元気で普段通り接してくれ、大変うれしく思いながら懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

在職中はあまり感じなかったのですが、いざ仕事を離れてみて初めて子ども達からパワーをもらっていたんだなあと思う感じがしています。

子ども達との関わりの毎日が充実していただけて、今は一抹の寂しさがあります。

ところで現在、私は自分の好きな事をやりながら充実した毎日を送っています。特に二回目のお遍路さんに挑戦中で、これも学園（弘善会―善通寺）に籍を置いていたからこそ縁があったと感謝しています。

最後に開設百十五周年という歴史ある学園で子ども達のために職員みなさんのこれからの活躍を心から願うと共に、私も少しでも学園の子ども達を応援していけるよう心がけて行きます。子ども達の写真のため！

私は、昭和五十九年に御縁があつて讃岐学園に児童指導員として就職しました。その頃は非常に規律が厳しくて、こんなことを子どもにも強いるのはどうなのかと思うことがたくさんありました。子どもたちからも不平や不満をたくさん聞き、もっと自由に子どもを養育できないのかという悩みました。

平成九年には、老人ホームに異動となり、お年寄りに関わる中で人間の生きざまについていろいろと教えられることがありました。人間は誰でもいつか「死」を迎えるもので、その時にみんなに感謝して終えることができれば最高だなと思えました。老若男女を問わず、みんな不平不満を口にしながら、少なからず幸せを求めています。その人生の一コマに私との思い出が刻み込まれたらいいなと思っています。

平成二十六年に、讃岐学園に事務長として異動になりましたので、よろしくお願ひします。

卒園生インタビュー

- ①仕事もそれなりにしつつ、仕事の時間より趣味の時間を優先して、マラソンとダンスと筋トレに励んでいます。
- ②思い出と言えば、悪いことをした時の罰則・・・！規律が厳しくて、なんて自由にできないのかって、不満ばかりだったこと。今では良い思い出になり、感謝にも変わっています。
- ③今のうちに目一杯遊んで、目一杯勉強して、後悔のない日々を過ごして下さい。

④平成10年3月（16歳の時）退園。

W. S 女

- ①自分で自分の将来のために専門学校に通うことを決めて4年間勉強に努めている。
- ②行事や外出が多かったから楽しかった。
- ③辛いこととか悩みがたくさんあると思うけど、先生たちは絶対話聞いてくれるから、相談できる時にしっかり話すことが大事だと思う。施設に入っていることは決して悪いことではないし、いい経験になると思うから前向きに生きて欲しいなって思う！

④平成21年10月（14歳の時）退園

H. S 女

- ①現状 ②思い出
- ③在園生へのメッセージ
- ④退園年度・名前・性別

- ① 大学1年。
いろいろ大変なこともあるけど後悔はない。卒業を目指して頑張ります！！

②1年生の時はいつも寝てばかりだったこと。

2年生の時の学校の三者面談。

それと、みんなで行った大阪旅行、高知の龍河洞。

日々の生活 全部が思い出です♥

③もう無理だと思った時、あとちょっとだけと思ってしてみると意外とうまくいくことがあります。何かしたいと思ったら、

自分の環境を理由に、逃げたり、諦めたりせず、とりあえずしてみましょう！ きっと夢はかないます！！

④平成26年3月（18歳の時）退園

I. S 女



- ①毎日仕事三昧です。
- ②小規模での生活。先生方が毎日おいしい料理や弁当を作ってくれたこと。嫌だったことは門限（笑）
- ③学園の先生は一人一人しっかりみてくれてるし、みんなが過ごしやすいよう、本当にいろんなことをしてくれます。なので先生の言うことをしっかり聞いて先生を困らせる事のないように。また感謝の気持ちを忘れず行動しましょう！！

④平成21年3月（18歳の時）退園

S. R 男



それぞれのスローガンとともに 讃岐学園のチームを紹介します!



学童寮・女子北フロア

小規模グループ寮



毎日が真剣勝負!



調理

役割分担

学童寮・男子フロア



学童寮・女子南フロア

ひとりひとりをありのままに



サポート



一味添える
讃岐学園の調味料
でありたい!

事務所



園の下の力持ち!



幼児寮

● 平成25年度事業活動収支計算書
自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決算額
措置費収入	196,834,795
経常経費補助金収入	7,749,470
寄附金収入	3,085,967
雑収入	2,397,615
国庫補助金等特別積立金取崩額	9,808,942
事業活動収入計①	219,876,789
人件費支出	143,501,521
事務費支出	19,941,130
事業費支出	43,078,887
減価償却費	13,932,756
引当金繰入	1,218,156
事業活動支出計②	221,672,450
事業活動収支差額③ (①-②)	-1,795,661
事業活動外収入計④	124,939
事業活動外支出計⑤	1,800,000
事業活動外収支差額⑥ (④-⑤)	-1,675,061
経常収支差額⑦ (③+⑥)	-3,470,722
特別収入計⑧	2,396,006
特別支出計⑨	2,396,006
特別収支差額⑩ (⑧-⑨)	0
当期活動収支差額合計⑪ (⑦+⑩)	-3,470,722
前期繰越活動収支差額⑫	124,980,605
当期末繰越活動収支差額⑬ (⑪+⑫)	121,509,883

讚岐学園ケアサービス案内

◆◆子育て短期支援事業◆◆

地元の市・町役場の子育て支援の窓口で手続きが必要です。

●ショートステイ

保護者が、病気・出産・出張・事故などのために家庭で子どもを養育することができないとき、一時的にお預かりします。

●トワイライトステイ

保護者が仕事その他の事由により、日常的に夜間又は、休日に不在となり養育するのが難しい時、お預かりし、生活支援や夕食の提供を行います。

◆◆母子緊急一時保護◆◆

緊急時お母さんとお子さんを一時保護します。

◆◆子育て相談◆◆ (児童育成相談事業)

当園は子どものお世話だけでなく、保育士・心理療士等が地域の方々からの相談に応じています。

子育てに関する悩み・不安など、お気軽にご相談ください。相談は無料。予約制です。

まずは、お電話にてご連絡ください。

☎ 087-847-5171 (讚岐学園)



● 貸借対照表
平成26年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	51,592,971
基本財産	518,055,970
その他の固定資産	74,330,773
資産の部計	643,979,714
負債の部	
流動負債	6,497,667
固定負債	7,165,695
負債の部計	13,663,362
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	131,206,469
その他の積立金	52,914,000
次期繰越活動収支差額	121,509,883
純資産の部計	630,316,352
負債及び純資産の部合計	643,979,714

助成により購入させていただきました
(平成25年度)

- 香川県応援ファンド
(岡三アセットマネジメント株式会社)
スズキ ワゴンR 1台
- 香川県民間児・者福祉施設振興会
パソコン1台(栄養士用)
- 特定非営利活動法人
エキスパートチャリティアソシエーション
厨房設備(業務用食器洗浄機・業務用冷凍庫)
- 香川県共同募金会 (平成26年度)
ダイハツ ミライース 1台

～ 後援会員募集中 ～

讚岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円
個人会員 1口2,000円

○ゆうちょ銀行 01650-2-5168 讚岐学園

○百十四銀行本店営業部(普通) 0119413

社会福祉法人弘善会

児童養護施設讚岐学園後援会

事務局長 土釜 一

※銀行振込の際は、お手数ですが、氏名・連絡先を讚岐学園までお知らせください。

子どもたちや保護者、地域の方から要望・意見（苦情）がありました

内 容	対 応 と 結 果	申 出 者
・職員が暴力をする	・県西部子ども相談センター、県子育て支援課に報告。 ・センター、県職員の確認調査の結果事実は無かったと確認	保 護 者
・いじめをうけている	・けんかやトラブルはあるが、一方的ないじめはないと説明	保 護 者
・いやがらせをされた	・子どもが嫌な思いをしたことを謝罪	保 護 者
・登下校の様子が危険	・情報提供を感謝し、子どもと考える	地 域 住 民
・家へ帰りたい ・家族に会いたい	・学園で生活することについて、子どもの家庭環境などに合わせて説明 ・必要に応じセンターワーカーに説明を依頼、保護者に子どもの気持ちを伝えた	小2 女子 小4 女子
(不安なこと) ・いじめられたら辛い ・学園の生活に疲れる	・いじめがないよう職員が見守っている。みんなが仲良くいじめのない生活をしよう ・しなければいけないことはちゃんとして、たまには息抜きをしながら生活する	小4 女子
(要 望) ・水色のランドセルが欲しい ・行事でピアノを弾きたくない ・苦情箱が壊れている ・部屋替えをして欲しい ・欲しい物を買ってくれない	・赤いランドセルを持っているので買えない ・職員と一緒に練習しながら弾くことを話しあう ・投函口が壊れているのを職員が確認、修理 ・部屋替えは子どもと話し合いの上適宜実施 ・話し合ったうえで買い物をしていることを説明	小2 女子 小4 女子
(相 談) ・掃除のしかた、整理のしかた	・イラストを見ながら説明	小4 女子
(職員との関係) ・職員が話を聞いてくれない ・職員がいやがらせ ・自分だけ叱られる ・職員が勝手に決めごとをする ・洗濯がきれいにできてない ・職員が怒る ・子どもを信用しない	・同じことを繰り返しているので他の職員に聞いてもらう ・したくないことをするように言うのはいやがらせでないと説明 ・1人の子どもだけを叱ることはないと説明 ・子どもと話し合っただけで決めていくが、どうしても必要なことは職員が決めることがある ・丁寧をしている。気に入らないときは職員と一緒にする ・理由もなく怒らない、怒るときの事情を説明 ・信用しているので素直に話し合いをして欲しい	小4 女子 小5 女子
(友だち関係) ・いじめ、暴力 ・いやがらせ ・けんか ・仲直りできない	・園長が当事者を呼び厳しく注意 ・原因、状況を振り返りながら当事者同士で話し合う ・自治会で権利ノートを読み合わせ、相手の気持ちを考えて生活することについて話し合う	小1男子女子 小2～小6女子 小6 男子

私たちは、「苦情解決制度についてのお知らせ」を掲示し、苦情箱を寮玄関・各談話室などに設置して苦情に対応しています。また、幼小中学校の先生を第三者委員会に委嘱するなど、要望・苦情は、気軽に申し立て、職員・園長と十分に話し合っただけで解決する雰囲気づくりと苦情の解決に努めています。なお、第三者委員への申し出はありませんでした。

更に、日々の生活の中でも、週2回のFE会（Free・Enjoy 自由で楽しい学園生活を考える会）で、職員と子どもと一緒に施設生活の不満や要望、改善点を話し合ったり、楽しい行事の企画など意見を出しあったりしています。また「権利ノート」の読み合わせを通して、安心・安全な生活は何かを共に考えています。



共に歩き続ける 遍路



2011年8月9日 子どもたちの発信で徳島一番札所霊山寺から歩き遍路が始まる。



<2011年 1番・2番・3番・4番・5番・6番・7番・8番・9番・10番>

2012年1月初詣を兼ねて、香川県をまず制覇して行こうと休日は近場をお参りする。

香川県 制覇

2012年8月 夏休みには1泊して徳島 雲辺寺に。登っても登っても

空を仰げず。いつになったら空を見上げることができるのかと無心に歩く。

登り切った時の達成感と爽快感そして心地よい疲労感。

その道のりでは、

子どもたちから学園では話さない事を、しんどい中一緒に歩きながら話し出す。家のこと親への気持ち、将来への不安。いっぱい喋っていっぱい汗をかいて、モリモリ食べて元気をもらってまた普通の生活に帰る。



<2012年 66番・67番・68番・69番・70番・78番・79番・80番

81番・82番・84番・85番・86番・87番・88番>

2012年10月学童寮全員で、88番大窪寺から逆打ちで87番長尾寺まで歩く。

職員も共に清々しい秋空の中良い汗を流す。

2013年 残りの徳島の札所を巡る。

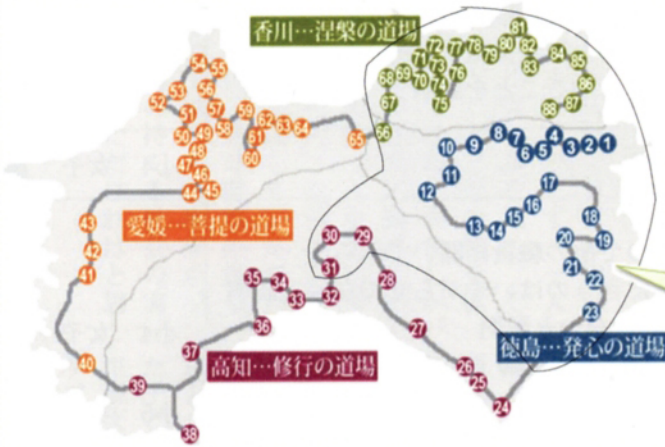
<2013年 11番・12番・13番・14番・15番

16番 17番・18番・19番・20番

21番・22番・23番>

徳島 焼山寺を越える！！

徳島県 制覇



2012年8月から
2014年9月まで

* 23番薬王寺から24番最御崎寺までの
75*は3度に分けて2/3決行中。

2014年 ついに高知県

<2014年 28番・29番・30番・31番>

これから先も長い道のりを子どもと共に歩き続ける。



編集後記

さぬき学園新聞百十五周年号発刊に当たり、快く寄稿して頂きました皆様、この紙面をお借りし、心よりお礼申し上げます。

今回の新聞編集を機に、古い写真や資料に目を通す中で、讃岐学園の歴史が、先達の深い愛情と情熱を礎として、また長きに渡りそれを支援してくださる多くの方のご厚志によって、刻まれ、今在る事を改めて痛感し、この歴史を引き継いでいく事の重みを感じているところです。

国の指針で児童養護施設の有り様も変わろうとしています。時代のニーズと共に変わって行くものもあれば、

守り続けるべきものもあります。「濟世利人」。先達の思いを継承し、

これからも子どもたちと共に歩んでいきたいと思えます。

今後とも、応援よろしく願います。(編集委員長 斎藤鈴代)

編集委員
安部智美・小屋敷由花
坂田宏文・野瀬由華
六車由佳

